

島特がまだすプラン2024

島原半島に一つだけある特別支援学校としての使命を自覚し
島原半島のすべての障害のある子どもたちの豊かな成長を願い
保護者や地域に信頼される学校づくりを推進するとともに
島原半島における特別支援教育の充実と発展に貢献するための取組

プラン1：開かれた学校づくり

- ①あいさつの励行
 - ・年間を通じたあいさつ運動
 - ・校外学習時のあいさつの励行
- ②積極的な情報発信
 - ・学級便り、P T A広報紙等
 - ・学校ホームページの毎月更新・充実
- ③地域への貢献活動
 - ・クリーン活動、地域清掃、環境美化
 - ・地域と連携した災害対策訓練等の実施

プラン2：指導力と専門性の向上

- ① I C T活用等による授業の質の向上
 - ・タブレットP Cの日常的な活用
 - ・リモートによる交流授業等の推進
- ② 自立活動の指導の更なる充実
 - ・個別の指導計画の有効活用
 - ・「力量形成チェックシート」の活用
- ③ 日々の授業改善と個人研究
 - ・キャリア発達の視点を取り入れた授業づくり
 - ・個人研究の共有化

◎保護者や地域に信頼される学校づくり
◎島原半島における特別支援教育の充実と発展

プラン3：交流及び共同学習の推進

- ①学校間・居住地校交流の充実
 - ・学校間・居住地校交流の在り方検討
 - ・間接交流の工夫・充実
- ②地域交流の充実
 - ・老人会、婦人会等との交流
 - ・校外学習時の交流
 - ・学校行事への招待、地域行事への参加
- ③三校舎間の交流学习の充実
 - ・学校行事等における交流の充実
 - ・間接交流の工夫・充実

プラン4：センター的機能の充実

- ①積極的な教育相談の実施
 - ・小・中学校、高等学校等への積極的な相談支援
 - ・早期からの幼児教育相談の実施
- ②医療・福祉等の関係機関との連携強化
 - ・3市連絡協議会の効果的な実施
 - ・福祉・労働機関と連携した進路実現
- ③教育相談機能の充実
 - ・教育相談担当者の研修の充実
 - ・各種発達検査、教材等の整備

全職員の共通理解と一致協力

〈情報の共有と共通認識、三校舎の連携と協働体制、実践に移す行動力〉